



第51回 消防救助技術四国地区指導会

令和5年7月29日（土）に第51回消防救助技術四国地区指導会が香川県高松市で行われました。上島町消防本部からは、水上の部（溺者搬送）に渡邊消防士（救助者）・持留消防士（要救助者）が出場し、日ごろの訓練の成果を発揮することができ見事入賞を果たしました。



▲渡邊消防士（左側）・持留消防士（右側）



▲持留消防士（左側）・渡邊消防士（右側）



9月9日は「救急の日」

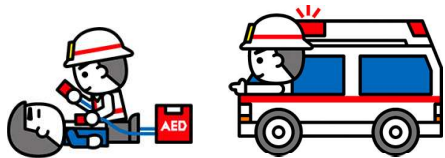
9月9日は「救急の日」と定められ、この日を含む9月4日から9月10日までの1週間は救急医療週間となっています。

これは、救急業務や救急医療に対する国民の正しい知識と認識を深めることを目的としています。

消防署では、各種団体やグループを対象とした救命講習を実施しており、年間を通して受講を受け付けています。

いざという時のために、正しい応急手当を身につけておきましょう。

講習会に関する問い合わせは、消防署までご連絡ください。



令和5年度全国統一防火標語

「火を消して 不安を消して つなぐ未来」

えひめ救急電話相談#7119

救急車を呼ぶべきか、自分で病院に行くべきか、それとも様子を見るべきか判断に迷うとき#7119番へ電話をすると医師・看護師が緊急度の判断を行い、医療機関の案内や119番へのかけ直しが助言されます。

○プッシュ回線・携帯電からは「#7119」
○ダイヤル回線・IP電話からは「089-909-9935」

☆ご利用できる時間帯365日24時間

急な「病氣」や「けが」で、
救急車を呼ぶ？ 病院に行く？ 迷った時に！

えひめ救急電話相談

こんな時には
#7119に相談してね

- お腹痛いんやけど、いしんやんやんか？
- 熱が下がらんのか？
- 家で様子を見るとき、応急処置は、どうすればいい？

県内のプッシュ回線・携帯電話からは
#7119 令和5年7月1日より運用開始

※ダイヤル回線・IP電話からおかけの場合は **089-909-9935**

365日24時間対応

愛媛県

【利用上の注意】救急電話相談は、相談者の参考としていただくものであり、医療行為ではありません。

令和5年7月出勤件数

地区	弓削	生名	岩城	魚島	その他	合計	R5累計
火災	0	0	0	0	0	0	1
救急	23	8	9	1	0	41	261

(令和5年7月31日現在)

上島町消防本部・消防署
消防防災課

☎ 77-4118
☎ 77-3166

表1 主要な秋冬野菜の栽培作型 ○種まき ×育苗 △植え付 ■収穫 ◡トンネル

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
キャベツ	■	■	■	■				(冬) (春)	○××	×△		
はくさい	■	■						(早生) (晩生)	○	○	■	■
ブロッコリー	■	■						○	○	■	■	■
ホウレンソウ	■	■						○	○	■	■	■
しゅんぎく(摘み)								○	○	■	■	■
レタス	■	■						○	○	△	△	■
人参	■							○	○	■	■	■
大根								○	○	■	■	■
水菜								○	○	■	■	■
じゃがいも(秋)								○	○	■	■	■
スナップエンドウ			■	■	■			○	○	■	■	■
極早生たまねぎ			■	■	■			○	○	■	■	■
晩生たまねぎ					■			○	○	■	■	■



朝晩、しのぎやすくなるこの頃から秋冬野菜の作付けを行う時期となります。遊休農地の活用と自給野菜の確保、体力づくりを兼ねた野菜栽培を始めてみませんか。今月は、主要な秋冬野菜についての栽培ポイントを解説します。

② 栽培の準備

畑は日当たりがよく、排水性の良い畑がよいでしょう。畑の準備として、植え付けの2週間前に苦土石灰と堆肥や腐葉土などを10㎡当たり2kg、その1週間後に元肥（肥料）をまいて土とよく耕運し整地します。元肥は肥料成分のバランスの取れた配合肥料が使いやすく、油かすや魚粉などの有機肥料にこだわれば、柔らかい野菜が収穫できます。しかし、有機肥料は肥料成分が低いので多めにまきます。

秋冬野菜は、だんだんと寒くなる冬に向かうため、気温の高いうちにある程度の大きさに育てるため適期の種まきが重要です。ホウレンソウや水菜など短期間で生育し、収穫適期が短い野菜は2週間ごとに少しずつ播くことで長い期間にわたり柔らかいものが収穫できます。

③ 植え付け

植え付け間隔は、野菜の大きさに応じて異なります（表2参照）。植え替えをきらう根菜類（大根、人参）やホウレンソウなどは、収穫時の大きさに応じて「点まき」や「すじまき」を行います（図1参照）。キャベツやブロッコリー、ハクサイ、タマネギなどは、JAやホームセンターで苗を購入して植え付けることが多くなりましたが、種をまいて育苗を行うこともできます。しかし、育苗期間が1.5〜2か月近くかかり、植え傷みの少ないポットの苗の利用が多くなりました。移植苗は表2を参考に品種に適した間隔に定植してください。

④ 植え付け後の管理

直まきの場合、点まきでは3〜5粒、すじまきは密に種をまくため、本葉が2〜4枚程度の時期に2回に分けて、最適間隔に間引きが必要です。点まきでは双葉が正常に開いた生育のよい株を最終1本にします。移植苗は活着するま

図1 種のまき方

点まき すじまき ばらまき

表2 主要な秋冬野菜の植え付け、施肥の基準

野菜の種類	植え付け間隔			肥料の施用量 (kg/10㎡)		
	うね幅 (cm)	株間 (cm)	植え方 (まき方)	苦土石灰	化成肥料	追肥
キャベツ	65	35	苗移植	1	1.5	0.5(2回)
はくさい	50	40	点まき、苗移植	1.5	1.5	1
ホウレンソウ	45	5	条まき	2	1	0.5
レタス	70	25	2条植え	1	1.5	1
大根	40	30	点まき	1	1	1
しゅんぎく(摘み)	30	10	条まき	1	1	0.5
水菜	30	10	条まき	1	1.5	0.5
たまねぎ	40	15	苗移植	1	1	2
スナップエンドウ	50	10	点まき、苗移植	1	0.5	0.5

で（葉がピンとする）灌水を行います。間引き後や移植苗が活着した後、株の左右に土寄せを行い株を安定させます。追肥が必要な野菜は、土寄せ時に追肥を行うと効率よく吸収されます。

⑤ 病害虫防除

気温が高い間はキャベツ、大根、はくさいはアオムシやネキリムシ、ホウレンソウやシュンギクなどはアブラムシが寄生しやすくなります。植え付け時や種まき時に粒剤を同時に施用することで害虫の食害や発生が軽減できます。ただし、まびき菜での利用はできませんのでご注意ください。